

第99期通常総代会の開催について

2024年6月19日

当金庫は、2024年6月19日（水）に第99期通常総代会を開催いたしました。
下記の事項を報告ならびに決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年度（第99期）決算概要

(1) 業容について

科 目	残 高	前 期 比
預 金 ・ 積 金	8,048 億円	14 億円減 (0.1%減)
貸 出 金	4,756 億円	196 億円増 (4.3%増)

預金・積金は、給与・年金振込や口座振替、インターネットバンキング契約の推進に加え、「インターネット支店開設6周年記念定期預金」発売などの営業活動に取り組んでまいりましたが、公金預金の減少により、7期振りに減少となりました。

貸出金は、伴走型営業を通じた金融支援や、ローンセンターによる住宅ローンの推進等により、11期連続の増加となりました。

(2) 利益等について

科 目	実 績	前 期 比
経 常 収 益	10,846 百万円	486 百万円増 (4.7%増)
実質業務純益	1,692 百万円	416 百万円減 (19.7%減)
経 常 利 益	1,725 百万円	202 百万円減 (10.5%減)
当 期 純 利 益	1,143 百万円	165 百万円減 (12.6%減)
利 益 剰 余 金	46,143 百万円	1,032 百万円増 (2.2%増)

貸出金利回り低下の影響を上回る貸出金残高の増加により、15期振りに貸出金利息収入が増加したことに加えて、有価証券利息配当金、役務取引等収益も増加した結果、経常収益は増加いたしました。一方で当期純利益は、広中央支店建替えにかかる特別損失を計上したこともあり、4期振りの減益となりました。

なお、出資配当率については従来通り4.00%を維持いたしました。

(3) 不良債権の処理状況について

貸出金が増加したことに加えて、業況が低調な取引先への支援に取り組んだ結果、不良債権額は183億円（前期比4.1%減少）、不良債権比率は3.85%（前期比0.34ポイント低下）となりました。

(4) 自己資本比率（国内基準）について

自己資本比率は 11.42% となり、前期比 0.25 ポイント低下しましたが、収益力強化を目的として貸出金や有価証券等のリスク・アセットを増加させたことによるものです。

なお、国内基準の 4.00% を大きく上回っており、健全性に問題はありません。

2. 2024 年度計画について

科 目	計 画
経 常 収 益	10,589 百万円
実質業務純益	1,876 百万円
経 常 利 益	1,651 百万円
当 期 純 利 益	1,209 百万円

2024 年度においても、お客さまや地域の課題解決に向けた伴走型の支援を実践することにより、地域金融機関としての役割を果たしていきたいと考えており、預金・積金残高は 8,050 億円（2 期振りの増加）、貸出金残高は 4,864 億円（12 期連続の増加）を計画しています。

3. 最近のトピックス

広島西支店の新築に着手しました。新築オープンは 2024 年 10 月下旬を予定しています。

今後も、地域の皆さま方へのより良い金融サービスの提供に努め、地域に長く愛される店舗を目指してまいります。

《完成イメージ》



《総代会の様子》

